

とうきょうすくわくプログラム活動報告書

| | |
|------|--------------|
| 保育園名 | 日向和田保育園（2歳児） |
| 日時 | 2025.10.15 |

1. 活動のテーマ

〈テーマ〉

自然（身近な生き物との出会い）

〈テーマ設定の理由〉

散歩先での身近な生き物との出会いを大切にしていき興味を広げていきたいと考えたから。

2. 活動スケジュール

園周辺を散歩してから、園内で子どもたちと話をしたり、簡単な図鑑を見てみたりする。

散歩に行った6名での活動。

3. 探究活動の実践 〈活動の内容〉

・活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- ・袋
- ・図鑑
- ・飼育ケース
- ・えさ

・活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育士との関わり

最近、散歩先での発見を楽しめるようになってきて花や木の実などへの興味に留まらず、鳥やバッタなどの虫にも気づくようになってきていた。

そこで今回は生き物に焦点を当て、発見を楽しむ散歩に出掛けた。

そこで運良く季節外れのサワガニを発見。

捕まえ園で観察をした。

カニの姿を見て「カニってエビじゃない？」「にっこりしている」「かわいい」等の声が聞かれた。カニが動いている様子を真似して横移動してみたり、指をチョキにしてカニの真似をしてみる児もいた。

また、観察時には触りたい気持ちがあっても触れなかった児が大半だったのでビニールの袋の上からまずは触ってみる事にした。

その後飼育ケースに入れると、「カニって何たべるかな？」の疑問が生まれ「虫じゃない？」「お肉！」「葉っぱは食べないよね」等の会話が聞かれた。図鑑で同じカニを探してみたり、口元がぶくぶくしているのを見て、「口はここじゃない？」と話していた。担任が持ってきた煮干しをカニが食べる様子を何とか見ようともしたり、飼育ケースを持ち上げ下から「おしりが見えた」と大興奮する様子があった。



4. 振り返り

珍しくサワガニがいたことに、まずは驚きが大きく、バッタなどの身近な生き物以上に子どもたちが目を輝かせていた。

それぞれの発見や、考えがユニークであり、その中、みんなが1つのものに対して会話をしている様子がとても良かったと思った。

11月の職員会議で内容を共有した。